

平成22年度は、本学の [第二期中期目標・計画](#)の始まる年であり、情報化に関しても新たな6年間のスタートとなりました。本中期計画は、[熊本大学アクションプラン2010](#)としてまとめられ、その中の [プラン88](#)に示されるように、新たな情報化への幕開の年となりました。

[プラン88](#)には、

『高度情報化キャンパス環境のさらなる高度化を達成するために、新たに「[総合情報環構想2010](#)」を再構築し、強固なセキュリティの上で、利用者やサービスの環を地域社会にまで拡大し、最新の技術に裏打ちされた利用者にとって安心して使いやすい情報環境を構築します。』

とあり、[総合情報環構想2010](#)に具体的な構想の内容を示しています。この中では、生涯継続利用できる「熊本大学ID」の導入、熊本大学ポータルによる個々の利用者に適したサービスの充実、先の [熊本大学アクションプラン2010](#)の中の [プラン14](#)にあるeポートフォリオの導入等、中長期的な構想を示しています。今、まさに、その構想の実現に向けてスタートを切ったところです。

また、平成22年度末には、4年間のリースを終えた全学計算機システムのリプレースによって、学内16教室に配置した教育用PC約1350台の更新等を行うことが出来ました。イベントとしては、[第18回eラーニング連続セミナー](#)を開催し、「eラーニングと動機づけ：ARCSモデルからのアプローチ」というタイトルで世界的巨匠のジョン・M・ケラー博士にご講演いただきました。

本広報で平成22年度のセンターの活動を概観いただき、本学の教育・研究・地域貢献を情報基盤の面からの支援活動をさらに充実するために、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。